

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	780,000株	2020年3月期	780,000株
2021年3月期3Q	6,536株	2020年3月期	6,467株
2021年3月期3Q	773,494株	2020年3月期3Q	773,573株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)におけるわが国経済は、2019年末頃までは、米国の保護主義への傾斜とそれに端を発した貿易摩擦の激化、英国のEU離脱、金融資本市場の混乱、消費税増税等による先行き不透明感から、企業業績の下振れが懸念される局面もありましたが、雇用環境は引き続き良好であり、人手不足を背景に合理化・省力化投資等を中心とした旺盛な設備投資需要にも支えられ、企業業績は堅調に推移していました。

しかしながら、2020年に入り、2月頃から顕在化した新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延で状況は一変、多くの企業で業績が悪化し経済活動も停滞を余儀なくされました。新規感染者数の拡大ペースは、4月上旬の緊急事態宣言後はやや落ち着きを取り戻していましたが、足元の2021年1月時点では、11都府県に再び緊急事態宣言が発出される事態となっており、首都圏を中心に新規感染者数は高止まりしている状況にあります。人・モノの動きや経済活動が強く制限されるなか、インバウンド消費の消滅や外出の自粛により、特に宿泊・飲食・旅行・航空等、対個人サービス関連企業を中心に業況は悪化しており、今後の感染拡大ペースや終息時期も不透明であることから、先行きが見通せず、多くの企業が対応に苦慮している状況です。

一方、当社グループが属する半導体業界におきましては、2018年秋以降、米中貿易摩擦等の影響から、メモリー投資の減速、データセンター関連需要の低迷等、先行きの需給動向を慎重に見極める状況が続いていましたが、2019年秋頃から、半導体メーカー及び半導体製造装置メーカー各社の将来見通しは上昇基調に転じました。2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地で広がる中、スマートフォンに代表されるコンシューマ製品や車載、産業機器で大幅な消費減少となりましたが、反面、テレワークや巣ごもり需要の増大でデータ量が増加し、データセンターなどのインフラ需要は急激に拡大しています。また、足元では、自動車産業の急激な回復を背景に、車載向けを中心とした半導体需給の逼迫が顕在化している状況です。今回の「コロナショック」を契機に、世界中の人々の行動様式は変化を迫られ、働き方、製造現場、購買行動、教育・医療には大きな変革が求められています。このような新しい行動様式の下では、5GやAI、IoT、自動運転等の需要がますます高まると見込まれ、中長期的には半導体需要は着実に拡大していくと思われま

す。このような環境の中、当社では、これまでに蓄えた豊富な受注残高と、工場の高稼働に伴う量産効果を背景に、売上高・利益ともに計画を大幅に上回る水準まで積み上げることができました。また、受注残高につきましては、2019年秋頃から拡大傾向に転じ、2020年夏には過去最高レベルの水準に達しましたが、足元では、更にそれを上回る水準で推移している状況です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,309百万円(前年同期比38.1%増)、営業利益は1,866百万円(同72.0%増)、経常利益は1,801百万円(同54.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,227百万円(同49.9%増)となりました。

当社グループの事業は、半導体事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に記載された区分ごとの状況の分析は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,222百万円増加し14,540百万円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金が889百万円、たな卸資産が370百万円それぞれ増加したこと等でありま

す。負債合計は前連結会計年度末に比べ140百万円増加し3,754百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が119百万円、未払法人税等が101百万円、流動負債その他が146百万円それぞれ増加し、借入金215百万円減少したこと等でありま

す。純資産合計は前連結会計年度末に比べ1,081百万円増加し10,786百万円となりました。主な要因は利益剰余金が1,111百万円増加し、為替換算調整勘定が22百万円減少したこと等でありま

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,246,736	3,105,788
受取手形及び売掛金	2,737,698	3,627,058
製品	352,136	374,302
仕掛品	1,086,481	1,300,348
原材料及び貯蔵品	848,189	982,243
その他	74,923	98,521
貸倒引当金	△3,344	△3,387
流動資産合計	8,342,820	9,484,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,362,365	1,358,429
機械装置及び運搬具（純額）	1,646,123	1,493,539
土地	1,147,762	1,148,302
リース資産（純額）	217,459	191,638
建設仮勘定	9,593	249,842
その他（純額）	134,166	172,975
有形固定資産合計	4,517,469	4,614,728
無形固定資産	57,282	226,696
投資その他の資産		
その他	402,196	215,477
貸倒引当金	△874	△874
投資その他の資産合計	401,321	214,603
固定資産合計	4,976,074	5,056,027
資産合計	13,318,895	14,540,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	714,070	833,158
短期借入金	1,037,188	1,009,828
未払法人税等	211,921	313,830
賞与引当金	130,579	101,215
その他	274,628	421,329
流動負債合計	2,368,387	2,679,361
固定負債		
長期借入金	912,829	724,798
役員退職慰労引当金	18,575	24,670
退職給付に係る負債	115,284	134,704
その他	198,771	190,937
固定負債合計	1,245,460	1,075,111
負債合計	3,613,848	3,754,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,350	829,350
資本剰余金	1,015,260	1,015,260
利益剰余金	7,684,625	8,796,267
自己株式	△35,473	△36,777
株主資本合計	9,493,763	10,604,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,486	△8,986
為替換算調整勘定	213,770	191,315
その他の包括利益累計額合計	211,283	182,329
純資産合計	9,705,046	10,786,429
負債純資産合計	13,318,895	14,540,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	6,741,788	9,309,773
売上原価	4,806,491	6,486,472
売上総利益	1,935,297	2,823,300
販売費及び一般管理費	850,127	956,685
営業利益	1,085,170	1,866,614
営業外収益		
受取利息	647	1,089
受取配当金	1,182	950
為替差益	40,426	—
還付金収入	23,491	—
補助金収入	16,808	107
その他	7,260	6,294
営業外収益合計	89,816	8,441
営業外費用		
支払利息	7,495	7,388
為替差損	—	63,710
その他	68	2,866
営業外費用合計	7,563	73,965
経常利益	1,167,422	1,801,090
特別損失		
固定資産除却損	9,091	3,929
特別損失合計	9,091	3,929
税金等調整前四半期純利益	1,158,331	1,797,161
法人税、住民税及び事業税	309,200	528,011
法人税等調整額	30,253	41,478
法人税等合計	339,454	569,489
四半期純利益	818,876	1,227,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	818,876	1,227,671

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	818,876	1,227,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,635	△6,499
為替換算調整勘定	△179,329	△22,455
その他の包括利益合計	△187,964	△28,954
四半期包括利益	630,911	1,198,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630,911	1,198,716

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは半導体事業の単一セグメントであります。

① 生産実績

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	9,005,098	+35.8

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 金額は消費税等を含んでおりません。

② 受注実績

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	9,466,409	+41.2	3,767,183	+33.5

(注) 金額は消費税等を含んでおりません。

③ 販売実績

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	9,309,773	+38.1

(注) 金額は消費税等を含んでおりません。